

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	住吉区
学 校 名	東粉浜小学校
学校長名	津田 毅

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・東粉浜小学校では、第6学年 72名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

「国語」「算数」においては、大阪府及び全国平均よりも上回り、「理科」においては大阪府よりも上回る結果となった。全国平均から11ポイント上回った「算数」が最も高く、「国語」は6.2ポイント全国平均を上回ったが、「理科」は1.1ポイント全国平均を下回る結果となった。総合ポイントでは、全国平均よりも高い結果となったが、内容によって下回っているところも見られる。また、無回答率も全ての教科で大阪市及び全国平均よりも大きく下回った。

児童質問紙調査では、肯定的な回答をする児童の割合が全国平均を大きく上回る結果である。中でも「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対して肯定的に回答する割合が、全国平均を大きく上回った。自己有用感をもった児童が多いことがうかがえる結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

学習指導要領の内容において全国平均を大きく上回っている結果となった。「読むこと」の分野では、全国平均よりも7.4ポイント上回ることができた。日頃の言語活動を通して国語科における資質・能力の育成に向けて取り組んできた結果を見ることができた。ただ一方で「我が国の言語文化に関する事項」に課題が見られた。低学年から古典にも親しみ、ことばの豊かさを理解することやことばの由来や変化を学んだり、積極的に読書活動を推進していく必要がある。

〔算数〕

全ての領域が全国平均よりも上回った。特に全国平均の正答率が最も低い「C 測定」では、全国平均よりも14ポイント近く上回っている。算数科の専科指導により、専門的な指導の充実が図られ成果が見られたと考えられる。「数と計算」の項目は、全国平均とほとんど変わらず基礎基本の学力はついているが、一層正答率が上がるように個に応じた指導の工夫を続けていく。

〔理科〕

「粒子」「地球」を柱とする領域は、全国平均より上回ることができたが、「エネルギー」「生命」を柱とする領域は全国平均よりも6ポイント下回った。領域によって興味・関心の差をなくし、理科への興味を身近な現象に結びつけ、実験や観察を通して学習意欲を高めていく必要がある。

質問調査より

「5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて」の項目、「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか」という質問に対して、肯定的な回答が大阪府・全国平均よりも上回っている。これは、ICT機器を活用した「自分の考えを表現し、深めようとする子どもを育む」という過去2年の研究の成果と言える。今後も主体的、対話的で深い学びの実現に向けて継続して取り組む必要がある。また、「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対して肯定的に回答する割合は全国平均を上回った。学校行事や児童会活動にたてわり班活動を行っている成果と言える。その結果、自己有用感や責任感、自他とともに認め合い支えあうことができる心が育っていることがうかがえた。しかし、「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標をもっていますか」という質問に対しての肯定的な回答が全国平均よりも下回っている。ポジティブな行動支援を行いながら、社会に出て、夢をつかむことができる子どもの育成に努めていく。

「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問に対して、肯定的に回答する割合が全国平均よりも高く、基本的な生活習慣が身につけていることがうかがえる。また、学校が休みの日や平日の学校の授業時間以外に3時間以上勉強をしている児童の割合も高く、全国平均と比べ家庭での学習も積極的に行っていることがわかった。

今後の取組(アクションプラン)

夢をもてるように、探究読解プロジェクトや本物との体験を通してキャリア教育も充実させていく。また、自己肯定感、自己有用感を培うために、たてわり班活動の一層の充実や教師からのポジティブな行動支援を行いながら、自他ともに認め合い、支え合うことができる環境づくりに努め、豊かな心の育成に努める。そして、児童にとって安全で安心な学校をめざし、児童が楽しく集中して学習に取り組めるように今後も進めていく。

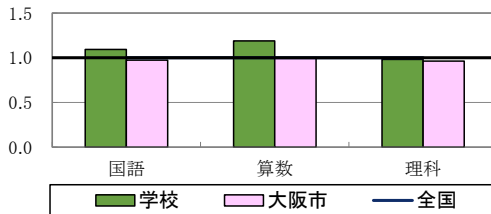
「算数」「理科」では専科指導を活用し、学級担任と連携を図りながら、学習の基盤となる資質・能力を育んでいく。そのためにも、教科等間のつながりを意識した教科横断的な視点で育成をめざす。表現力の育成においては、児童が自分の考えや思いを伝え合う交流の場を設定し、協働的な学びに迫ることができる授業展開をめざす。そのためにもICT機器を一層、文房具として活用しながら各教科の見方・考え方を働かせた対話の時間を設けたり、学習のふりかえりを充実させたりしながら授業研究を推進していく。

【 全体の概要 】

平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	73	69	56
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

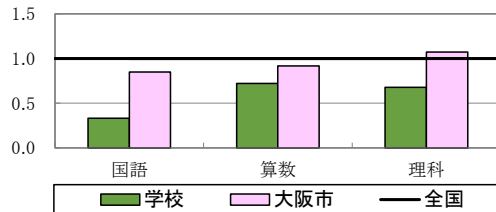
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	1.1	2.6	1.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

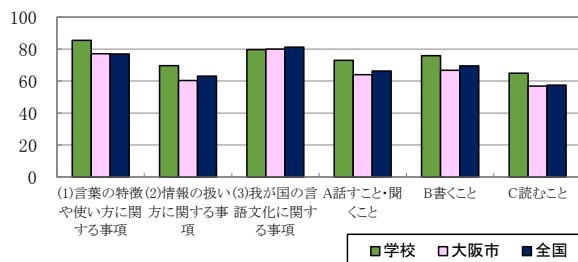
平均無解答率（対全国比）



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	2	85.5	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	69.6	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	79.7	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	72.9	64.0	66.3
B 書くこと	3	75.8	66.7	69.5
C 読むこと	4	64.9	56.9	57.5

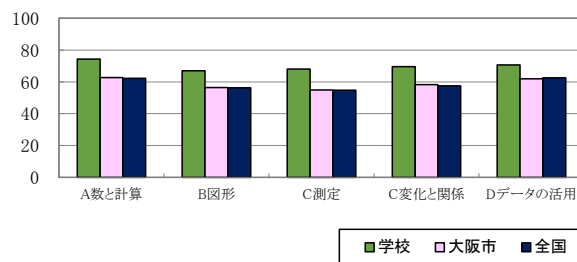
国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



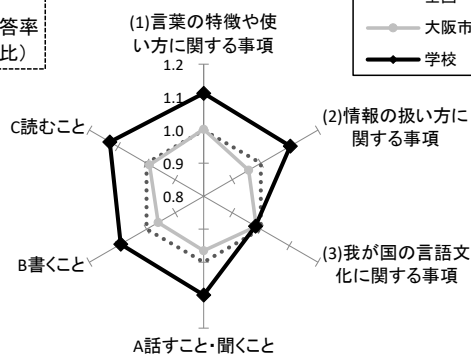
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	74.3	62.7	62.3
B 図形	4	67.0	56.4	56.2
C 測定	2	68.1	54.9	54.8
C 変化と関係	3	69.6	58.2	57.5
D データの活用	5	70.7	61.9	62.6

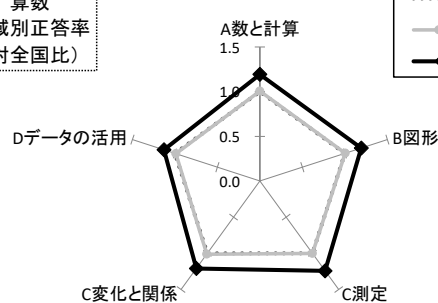
算数 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



国語 内容別正答率 （対全国比）

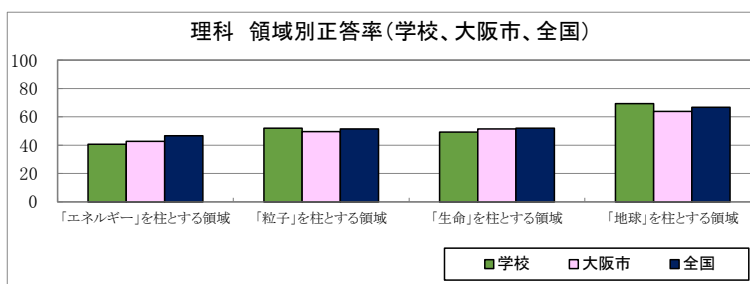


算数 領域別正答率 （対全国比）

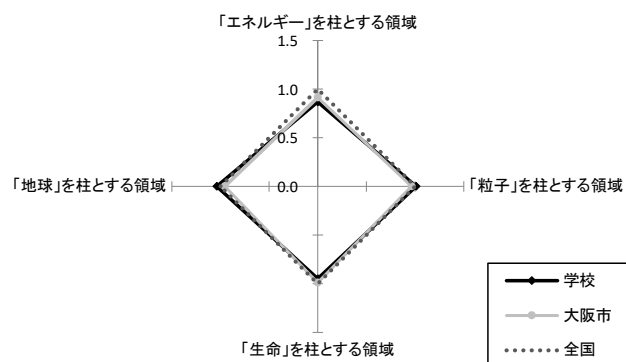


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	40.6	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	51.9	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	49.3	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	69.3	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

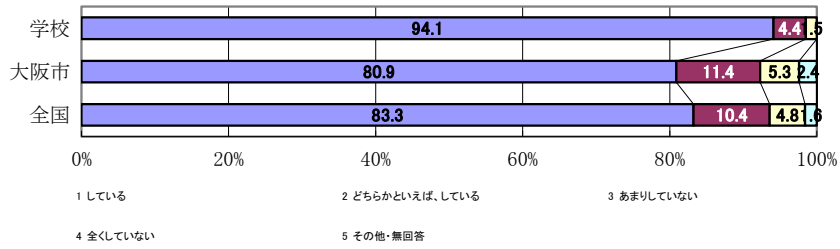
4

5

6

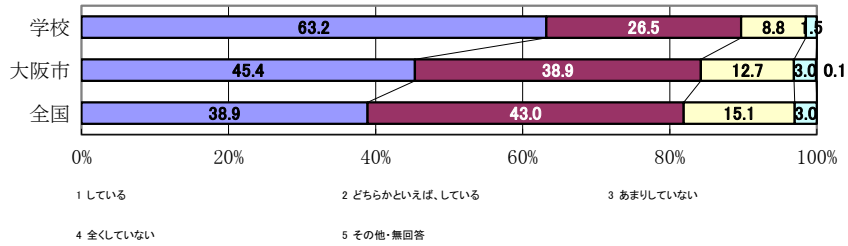
7

8



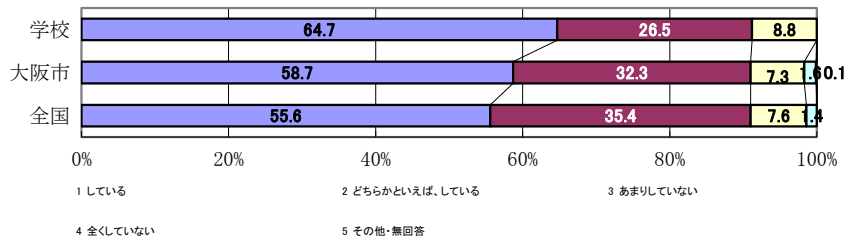
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



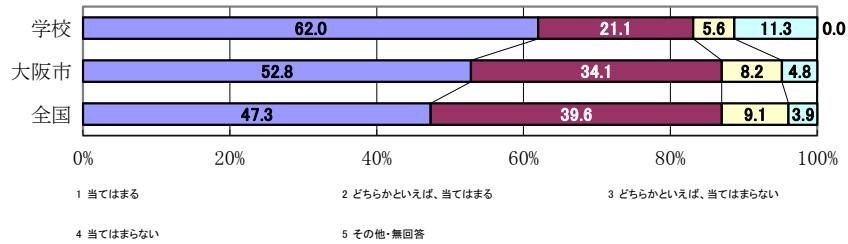
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



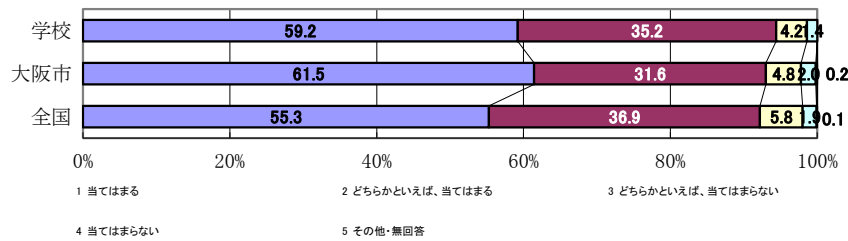
5

自分には、よいところがあると思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



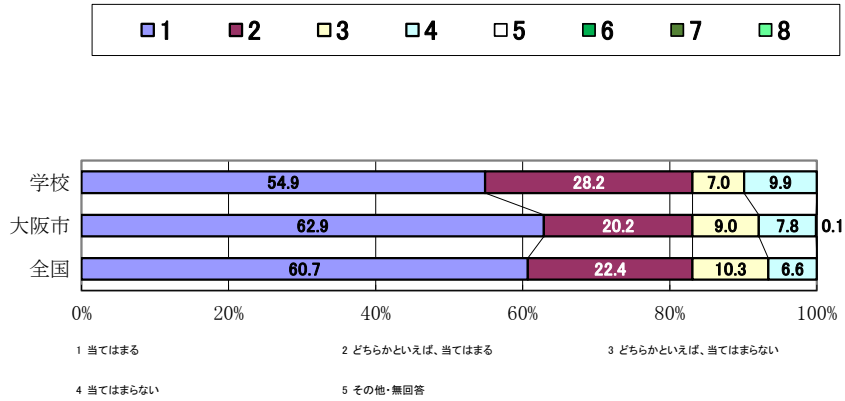
児童質問より

質問番号

質問事項

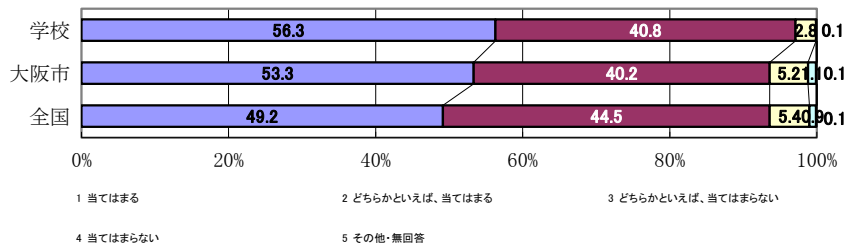
7

将来の夢や目標を持っていますか



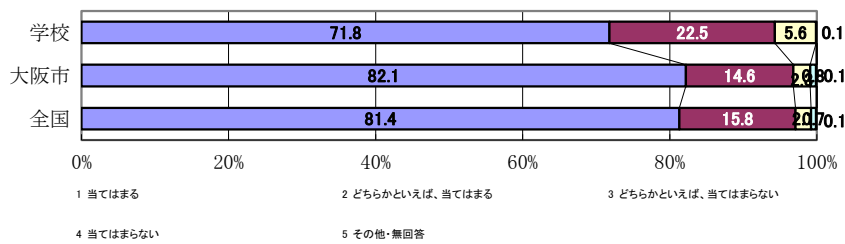
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



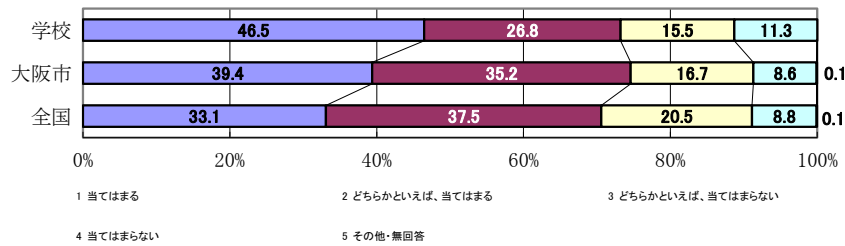
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



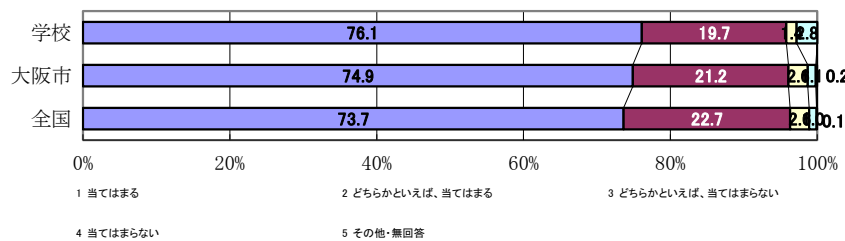
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



児童質問より

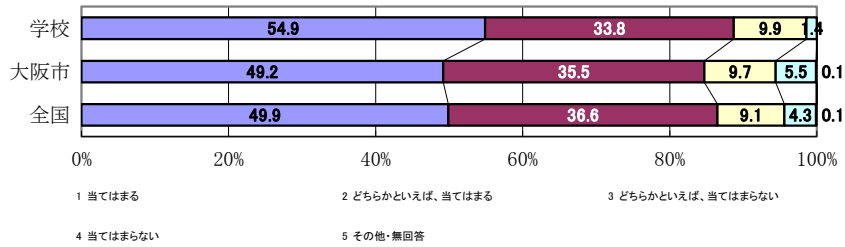
質問番号

質問事項

12

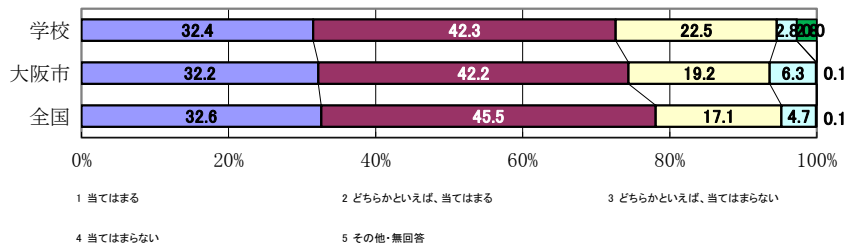
学校に行くのは楽しいと思いませんか

1 2 3 4 5 6 7 8



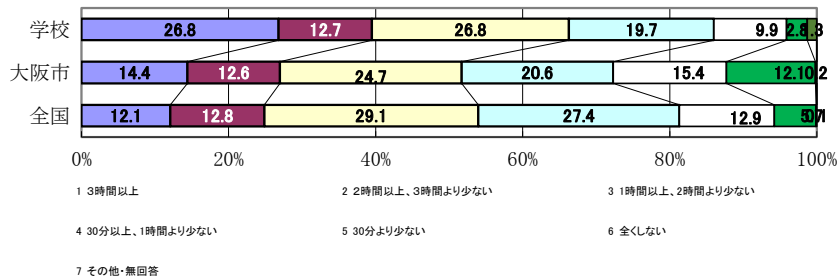
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いませんか



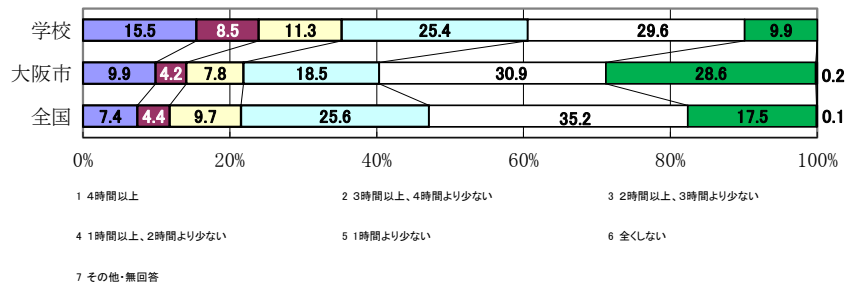
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



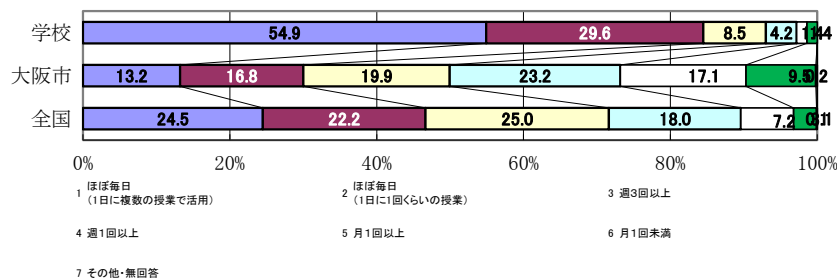
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



28

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



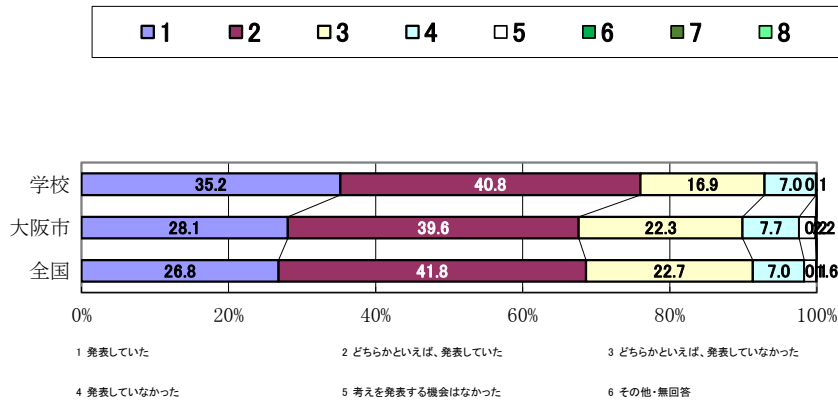
児童質問より

質問番号

質問事項

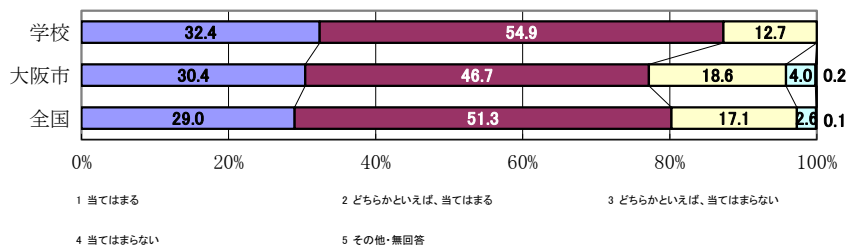
31

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



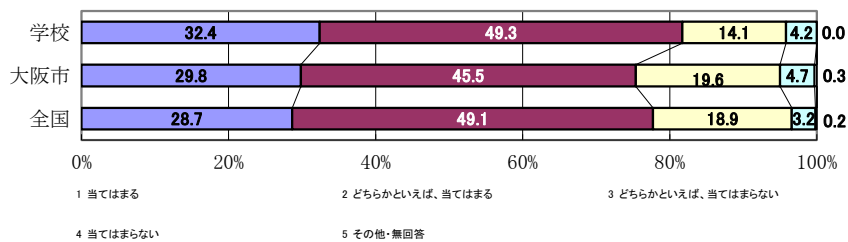
32

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



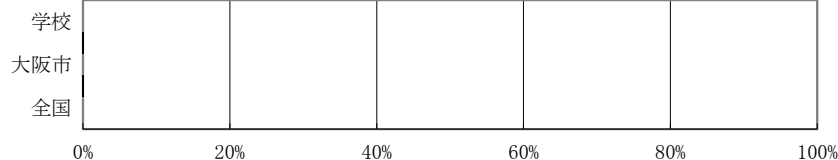
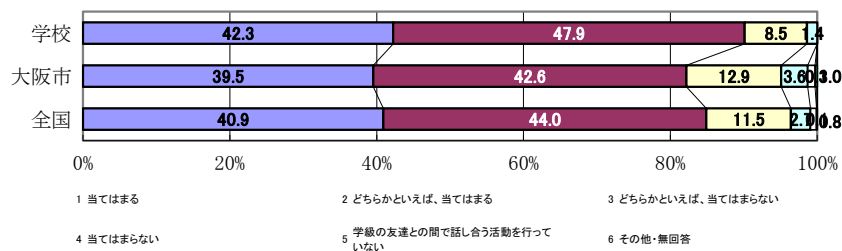
33

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



学校質問より

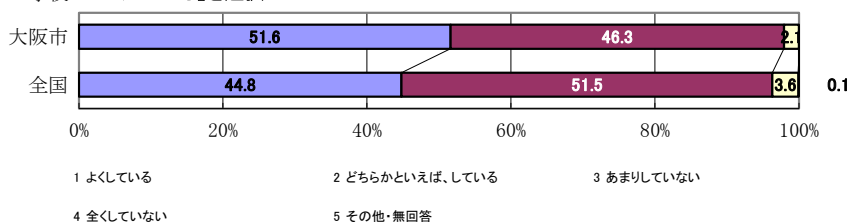
質問番号

質問事項

17

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

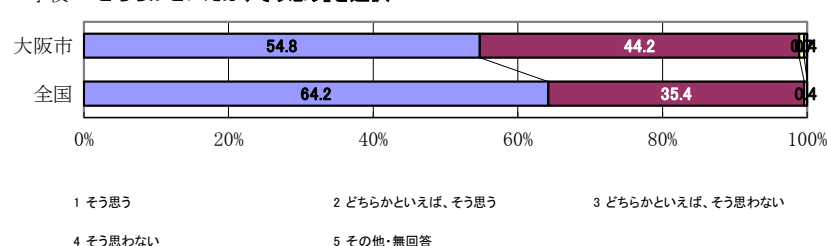
学校 「よくしている」を選択



21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

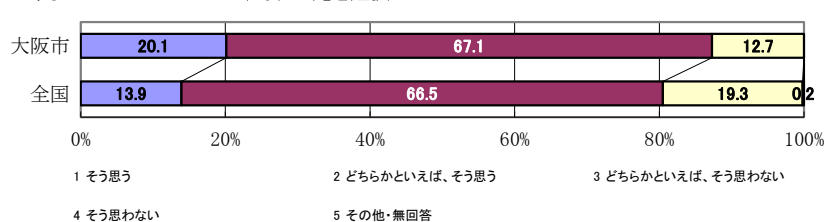
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

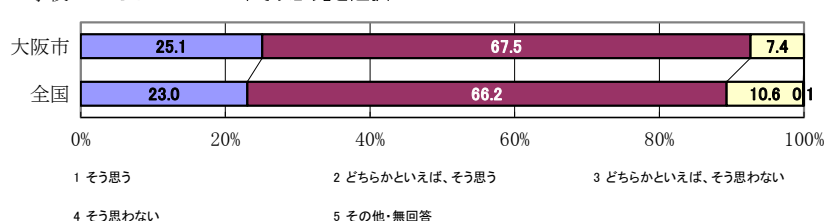
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

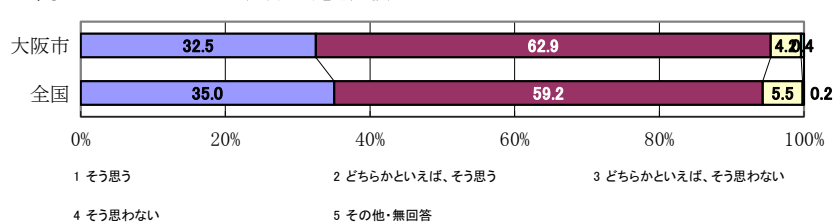
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



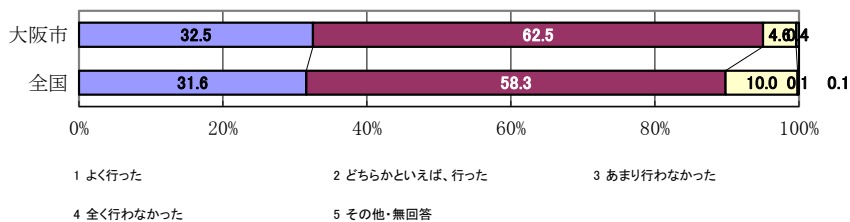
学校質問より

質問番号
質問事項

32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

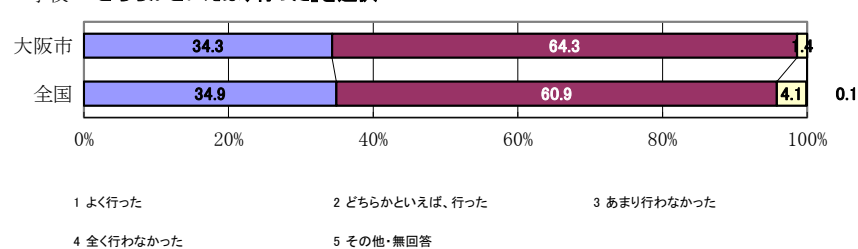
学校 「よく行った」を選択



43

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか

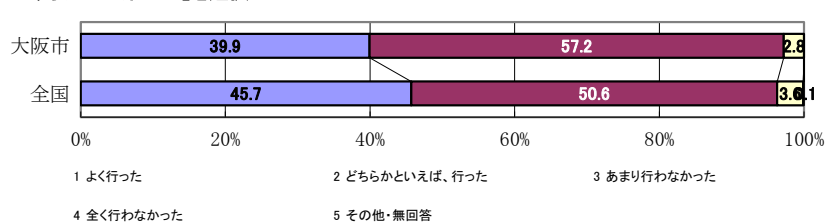
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



47

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

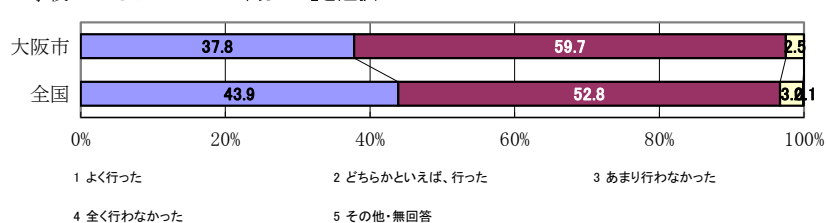
学校 「よく行った」を選択



51

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導を行いましたか

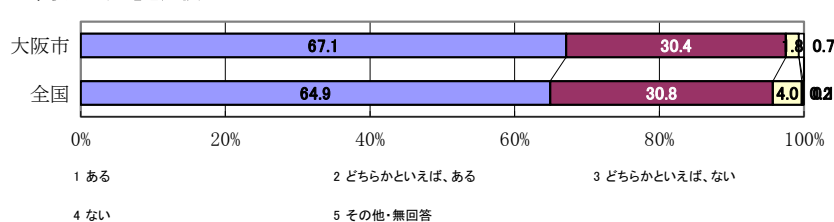
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか

学校 「ある」を選択



学校質問より

質問番号

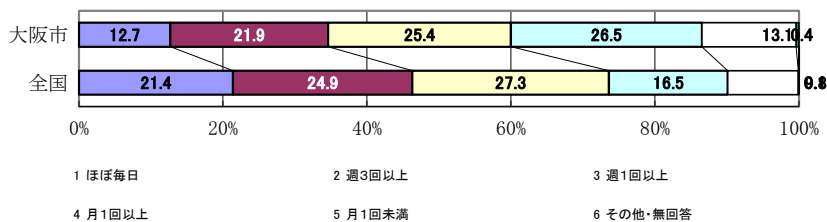
質問事項

62

調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

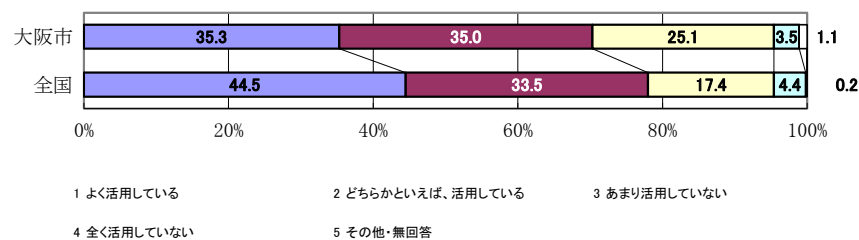
学校 「ほぼ毎日」を選択



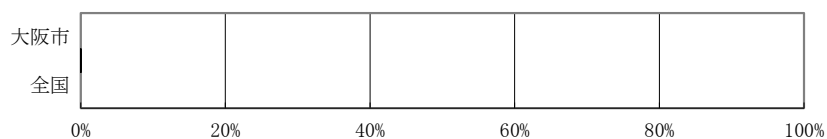
65

教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか

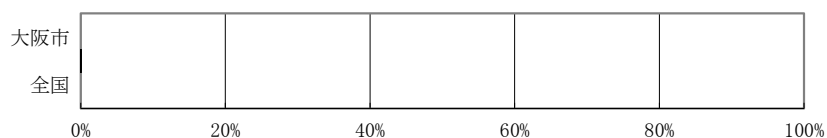
学校 「よく活用している」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択

